

酒づくりと環境への取組み

～電子マニフェスト導入のメリット～

旭酒造株式会社 水質管理課 藤本 憲道

企業プロフィール

1948年に設立された旭酒造株式会社。日本酒の中で最高級の純米大吟醸のみを造る酒蔵です。山口県岩国市の自然豊かな場所で主に日本酒「獺祭」を製造しており、国内のみならず、世界30カ国以上に輸出しています。2021年には海外の売上高が国内売上高を超えるまでになりました。

「酒造りは夢創り、拓こう日本酒新時代」をキャッチフレーズに伝統や手造りという言葉に安住することなく、変革と革新の中からより優れた酒を創り出そうという思いで「獺祭」と命名しています。

写真1



写真1 フラッグシップ獺祭 23

企業概要

設立：1948年3月1日

所在地：山口県 岩国市 周東町 瀬越 2167-4

従業員数：267名（2022年8月末時点）

事業内容：酒類製造及び販売

1 電子マニフェストの導入

マニフェスト管理業務の効率化やコンプライアンスの遵守等を目的に2016年5月に電子マニフェストを導入しました。それまで手書きで記入していた紙マニフェストと比較し①記入の手間がなくなる ②運搬終了報告や処分終了報告を報告後すぐに確認できる ③登録したマニフェスト情報はJWNETが保存するため、弊社でのマニフェストの保存が不要となる ④毎年弊社で集計して報告していた管理票交付等状況報告が不要になる、など導入のメリットを実感しています。

醸造や製造の過程において主に脱水汚泥及び汚泥（年間排出量約300トン）、廃棄酒粕及び廃棄米等（年間排出量約20トン）、破碎瓶（年間排出量約50

トン）を排出しており、破碎瓶以外の廃棄物については電子マニフェストで運用しています。週1～2回程度マニフェストを登録し、3人の担当で管理・運用しています。

弊社では廃棄物を排出する場所、担当者、廃棄物の種類、処理業者が固定されているため、この情報を入力パターンとして設定しておき、マニフェストを登録する時に活用して業務の軽減や誤入力防止を図っています。

また、処理業者とのやり取りで必要となる受渡確認票は、予約登録[※]した時点で受渡確認票を3枚印刷し、1枚は弊社でのマニフェスト入力原票とし、他の2枚は収集運搬業者に渡しています。

※【予約登録】産業廃棄物の排出前の予定の段階で、その時点で決まっている情報のみを入力し、マニフェスト情報を保存しておくこと。

2 環境への取組み等

弊社が製造しております獺祭は、繊細な香味を特徴の一つとしておりますが醸造だけでなく製品化の工程や原料にもきめ細やかな管理を徹底しています。

捨てられる排水にも管理を徹底しており、環境負荷の低減に努めています。それだけに日々の汚泥発生量は多く脱水工程は気を遣うところですが、回収された脱水汚泥は別業者によって再生され、堆肥として生まれ変わります。原料であった米ぬかや酒粕も同様に廃棄は基本的に発生せず、様々な材料・製品となって送り出されています。具体的には米粉、みりん等の調味原料やこめ油、化粧パック・マスク、また近年ではコロナ禍でニーズが高まった消毒用エタノール等です。

3 人が中心の酒造り

私たちは「獺祭は機械が工場で作っている」というイメージを払拭していきたいと考えています。実際、箱の組み立てや瓶詰などお酒を製品化する工程では自動化を進め、業務効率化を図っていますが、その分の力を酒造りに振り向けています。酒造りそのものは若い蔵人が日々汗を流し、真剣に造り続けております。ひと手間、ふた手間をさらにかけて酒造りを行うとともに高品質の酒を安定的にお届けするよう努めています。 **写真 2、3**



写真 2 麹菌を振りかけている様子



写真 3 集合写真